

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～26℃台を示し、平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間とシケで出漁日数が少なかった。北松南部地区では、マイワシが1日1統当たり20トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり266kgの水揚げで、前週の43%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり26kgの水揚げで、前週の68%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり1.5トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網——対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり110kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり679kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、カマスが1日当たり103kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/1～7/4の4日間）沖合イカ釣（船凍船）は、北海道沖に北上するも漁薄、佐渡沖、能登沖向け南下、一部太平洋へ移動船あり。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延4隻、総計160箱、1航海最高82箱、平均40箱。スルメイカ（20～30入）123箱、ケンサキイカ（2立～4立）37箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-11号 6県ケンサキイカ情報（令和5年度 第1号）」・「第5-12号 6県ケンサキイカ情報（令和5年度 第2号）」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>